

2009年10月9日

報道関係者 各位

千葉市科学館・地域連携事業  
「たたら製鉄体験講座」のご案内

千葉市科学館（館長：大高一雄、所在地：千葉県千葉市中央区）は、地域連携事業の一環として、「たたら製鉄体験講座」を実施します。日本古来より伝わる「たたら製鉄」を体験することにより、伝統技術への関心を高めるとともに、炉の中で起こる「化学変化」を学ぶことができるプログラムです。

実施にあたり、「地域の歴史文化勉強会」「JFE スチール株式会社」「千葉ポートタワー」の協力を仰ぎ、地域の歴史・文化・産業を知る機会となれればと考えています。

当日は、子どもたちが千葉ポートタワー前の海岸で採取した砂鉄を原料に、「ケラ」（粗鋼）を炉から取り出す作業を行います。詳細は添付資料をご覧ください幸いです。

記

1 行事名 「たたら製鉄体験講座」  
(講座参加者の募集は締め切りました。見学のみとなります。)

2 期 日 平成21年10月18日(日) 10:00~17:00

3 会 場 千葉市科学館 バス駐車場

4 料 金 無料※

※ 10月17日(土)・18日(日)は、科学館・プラネタリウムとも「市民の日」を記念して無料開放されます。入場方法は、科学館ホームページ (<http://www.kagakukanQ.com>) をご覧ください。

以上

## 千葉市科学館「たたら製鉄体験講座」

### ■講座実施の趣旨

日本古来の製鉄方法、宮崎駿のアニメ「もののけ姫」でも登場した「たたら製鉄」。

刀匠 大野兼正（大和久伸介氏）を招いて、「兼正流小たたら製鉄法」を千葉市科学館で操業し、子どもたちに体験していただくプログラムです。

この製鉄法は、岐阜県関市の大野兼正刀匠が長年の研究の末に現代に甦らせた古代製鉄法です。この小たたらの特徴は、羽口の角度や送風を加減することにより、鋼だけでなく銑(ズク)と呼ばれる銑鉄や、炭素を全く含まない鐵をも作ることが可能な点です。現代製鉄では、材料から一旦銑鉄を作って鋼にしていますが、小たたらでは直接、好みの炭素量の鐵を造る事が出来ます。

「砂鉄を融かして鐵を作る」と思っている方が多いと思うのですが、それは誤解です。

炉の中で起こる「化学反応」によって生み出される「鐵」。千葉市科学館では「たたら製鉄」を体験することで伝統技術への関心を高めるとともに、化学変化の「フシギ」を学び、一緒に指導いただく地域の人々との交流を通じて、地域の歴史・文化・産業を知る機会となればと考えています。

### ■当日の流れ

- 10:00 操業開始（千葉市科学館 バス駐車場にて）
- 11:00 1時間後に砂鉄投入開始（千葉ポートタワー前の海岸で採集した砂鉄も使用）  
炭と砂鉄を交互に入れながら、約30分おきにノロ出し※
- 12:00-13:00 休憩
- 13:00 引き続き砂鉄投入  
炭と砂鉄を交互に入れながら、約30分おきにノロ出し  
砂鉄を30~40キロ投入した時点で、砂鉄投入は終了
- 1時間後 炉を壊し、ケラを取り出す



炉からケラを取り出す様子



「ケラ」（粗鋼）

※ ノロ…砂鉄中に含まれる不純物が高温で融解したもの

以上

---

このリリースに関するお問合せ先：千葉市科学館 事業開発グループ 広報担当

電話：043-308-0514 FAX：043-308-0520

メール：[webinfo.kagakukanQ.com](mailto:webinfo.kagakukanQ.com)